

授業科目	授業番号： 20			担当者	米村 大輔
	英語 I (A)			授業外対応	メールでアポイント又は講義前後に 適宜対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語の基本4技能を養い、文法の定着を図りつつ、現代の社会事情について考える。</p> <p>【概要】各回、現代の社会事情について特定のトピックを扱い、タスクを通して「読む」「聞く」「話す」「書く」技能をバランスよく身につける。また基礎英文法の定着も図る。</p> <p>【到達目標】日常の様々な場面で情報の理解、発信を英語で的確に行えるようにし、現代社会への対応力を身につける。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Jonathan Lynch、委文光太郎(著)(2023).『Trend Scope』</p> <p>(2) 適宜紹介する</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 Resellers-Good or Bad? (be 動詞)</p> <p>第2回 About Earphones (一般動詞)</p> <p>第3回 Cash Registers (名詞・代名詞)</p> <p>第4回 Funny Happenings During Online Lessons (過去形)</p> <p>第5回 Loose-Fitting Clothing (進行形)</p> <p>第6回 Shrinkflation (Wh 疑問文)</p> <p>第7回 Living in the Countryside (前置詞)</p> <p>第8回 Hanging Out in Streets and Parks (接続詞)</p> <p>第9回 Plant Burgers Are Popular in America (現在完了形)</p> <p>第10回 South Korean Culture Is popular Worldwide (未来表現)</p> <p>第11回 Doxing (助動詞)</p> <p>第12回 Fast Movies (受動態)</p> <p>第13回 Do We Need a "Dislike" Button on Social Media? (形容詞・副詞)</p> <p>第14回 Ramen Subscription (不定詞・動名詞)</p> <p>第15回 Which Video-Sharing App Is Best? (比較級・最上級)</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	授業の取り組み・発言内容 20%、発表 20%、課題 20%、確認テスト 40%				
実務経験について	なし				

(注)教職必修，日本語日本文学専攻

授業科目	授業番号： 21			担当者	松元 貴子
	英語 I (A)			授業外対応	授業後、またはメールなどにて対応します。
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語を総合的に学び、スピーキングとライティングを通して、表現する力を鍛える。</p> <p>【概要】スピーキング活動を通して、英語の音声を正しく理解し、実践する。ライティング活動を通して、アイデアの出し方、パラグラフの構成力を習得する。また、語彙力・表現力を習得する。ペア活動・グループ活動を通して、相手に伝わる、そして、相手を動かす表現を習得する。</p> <p>【到達目標】構成力のあるライティングができる。自分の書いた文をもとに、正しい音でスピーキングができる。ペアワークでの会話を3分以上続けることができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリント資料を配布する。</p> <p>(2) 適宜紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション：自己紹介や英語の音の紹介</p> <p>第 2回 How to start a conversation & how to introduce myself：会話のコツと母音の発音</p> <p>第 3回 How to organize a paragraph & Brainstorm：パラグラフの構成、母音の発音</p> <p>第 4回 Conversation & paragraph：自分のことを書く、話す・母音と子音の発音</p> <p>第 5回 Explain about myself & people 1：自分のことを書く、話す・子音の発音と音の省略</p> <p>第 6回 Explain about myself & people 2：自分のことを書く、話す・母音/子音と音の省略</p> <p>第 7回 Explain about myself & people 3：自分のことを話す・母音/子音と音の連結</p> <p>第 8回 Describing about my experience 1：経験を書く、話す・母音/子音と音の連結</p> <p>第 9回 Describing about my experience 2：経験を書く、話す・音の強弱</p> <p>第 10回 Describing about my experience 3：経験を話す・音の強弱</p> <p>第 11回 Let's talk about my interest1：興味のあることを調べる。まとめる。話す</p> <p>第 12回 Let's talk about my interest2：興味のあることを調べる。まとめる。話す</p> <p>第 13回 Presentation project preparation 1：興味のあることをプレゼンする</p> <p>第 14回 Presentation project preparation 2：興味のあることをプレゼンする</p> <p>第 15回 Preparation and review for final：まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	スピーキング、発音、ライティングのいずれかを必ず授業外学習として課します。				
成績評価の方法	授業内スピーキング活動などの取り組み (25%) + ライティングなどの提出物 (25%) + グループ発表・プレゼンテーション発表 (50%)				
実務経験について					

(注)教職必修，日本語日本文学専攻

授業科目	授業番号： 22			担当者	新福 豊実
	英語 I (B)			授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Access』 Pearson Longman</p> <p>(2) 授業時に適宜指示する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Class overview: Clarification language and classroom interaction. (Unit zero)</p> <p>第 2回 Asking/Giving personal information (Unit 1)</p> <p>第 3回 Following instructions (Unit 2)</p> <p>第 4回 Personal item vocabulary (Unit 3)</p> <p>第 5回 Telling time/talking about schedules/common activities (Unit 4)</p> <p>第 6回 Family relationship vocabulary (Unit 5)</p> <p>第 7回 Describing clothing / shopping (Unit 6)</p> <p>第 8回 Review I</p> <p>第 9回 Talk about your past (Unit 7)</p> <p>第 10回 Describe animals and (Unit 8)</p> <p>第 11回 Talk about things you can and can't do (Unit 9)</p> <p>第 12回 Ask about likes and dislikes (Unit 10)</p> <p>第 13回 Talk about rules and laws in other countries (Unit 11)</p> <p>第 14回 Make up a story and tell it to your partner (Unit 12)</p> <p>第 15回 Review II</p>				
授業外学習 (予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。				
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (40%) 課題 (20%)				
実務経験について	なし				

(注) 教職必修, 生活科学専攻

授業科目	授業番号： 23			担当者	新福 豊実
	英語 I (B)			授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】 日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】 日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Access』 Pearson Longman (2) 授業時に適宜指示する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 Class overview: Clarification language and classroom interaction. (Unit zero) 第 2 回 Asking/Giving personal information (Unit 1) 第 3 回 Following instructions (Unit 2) 第 4 回 Personal item vocabulary (Unit 3) 第 5 回 Telling time/talking about schedules/common activities (Unit 4) 第 6 回 Family relationship vocabulary (Unit 5) 第 7 回 Describing clothing / shopping (Unit 6) 第 8 回 Review I 第 9 回 Talk about your past (Unit 7) 第 10 回 Describe animals and (Unit 8) 第 11 回 Talk about things you can and can't do (Unit 9) 第 12 回 Ask about likes and dislikes (Unit 10) 第 13 回 Talk about rules and laws in other countries (Unit 11) 第 14 回 Make up a story and tell it to your partner (Unit 12) 第 15 回 Review II</p>				
授業外学習 (予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。				
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (40%) 課題 (20%)				
実務経験について	なし				

(注) 教職必修, 生活科学専攻

授業科目	授業番号： 24			担当者	新福 豊実
	英語 I (C)			授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】 日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】 日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Access』 Pearson Longman (2) 授業時に適宜指示する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 Class overview: Clarification language and classroom interaction. (Unit zero) 第 2 回 Asking/Giving personal information (Unit 1) 第 3 回 Following instructions (Unit 2) 第 4 回 Personal item vocabulary (Unit 3) 第 5 回 Telling time/talking about schedules/common activities (Unit 4) 第 6 回 Family relationship vocabulary (Unit 5) 第 7 回 Describing clothing / shopping (Unit 6) 第 8 回 Review I 第 9 回 Talk about your past (Unit 7) 第 10 回 Describe animals and (Unit 8) 第 11 回 Talk about things you can and can't do (Unit 9) 第 12 回 Ask about likes and dislikes (Unit 10) 第 13 回 Talk about rules and laws in other countries (Unit 11) 第 14 回 Make up a story and tell it to your partner (Unit 12) 第 15 回 Review II</p>				
授業外学習 (予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。				
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (40%) 課題 (20%)				
実務経験について	なし				

(注) 教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	授業番号： 25			担当者	遠峯 伸一郎
	英語 I (C)			授業外対応	講義前後に適宜対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英文法の基礎を確認し、英語をより正確に理解できるようになる。</p> <p>【概要】基礎的な英文法が身につけていないと、英語を読んだり、書いたり、聴いたり、話したりすることはとても困難になります。この授業では英文法の基礎を学習し、以後の英語学習に役立てることができるようになることを目指します。</p> <p>【到達目標】標準的な学習英文法の学習。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 藤岡克則・大岩秀紀 (2022)『基礎からの英文法 (第8版)』三修社。</p> <p>(2) 随時紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 ガイダンス</p> <p>第 2回 英語表現の基本</p> <p>第 3回 時間の表現 I</p> <p>第 4回 時間の表現 II</p> <p>第 5回 時間の表現 III</p> <p>第 6回 話し手の視点 (能動と受動)</p> <p>第 7回 つなぐ表現</p> <p>第 8回 動詞のさまざまな形 I</p> <p>第 9回 動詞のさまざまな形 II</p> <p>第 10回 動詞の様々な形 III</p> <p>第 11回 修飾の表現 I</p> <p>第 12回 修飾の表現 II</p> <p>第 13回 程度の表現</p> <p>第 14回 空間と時間の表現</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	予習 2時間以上、復習 1時間以上必要である。				
成績評価の方法	試験 (60%) + 課題 (30%) + 授業内活動への積極的参加 (10%)				
実務経験について	なし				

授業科目	授業番号： 26		担当者	金岡 正夫	
	英語 I (D)		授業外対応	授業終了後	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】上に努め、発信能力を身につける。国内外の大学事情にも興味をもち、知見を深めていく。</p> <p>【概要】実社会や海外に通用する大学生づくりを英語使用を通して高めていく。同時に自国の歴史、特に明治期に文明開化と国際化に出会った歴史についてもふれていく。授業では考えたり、話し合いをもとに内容を深め、それを確かな自分の姿（卒業後の進路・キャリアプランを含めて）にもつなげていく。</p> <p>【到達目標】発音記号の読み方、ポーズの入れ方、安定した速度、流暢な連結発音、感情移入—こうした音読スキルを習得する。テキストで学んだことを英語で書き、プレゼンテーションできる能力を磨く。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 良質なテキストで自己成熟&英語成熟をめざして (英宝社) ISBN 978-4-269-13017-3</p> <p>(2) 特になし</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 音読知識・スキル (発音、アクセント)</p> <p>第 3回 音読知識・スキル (チャンキングルール)</p> <p>第 4回 音読知識・スキル (リエゾン、WPM)</p> <p>第 5回 音読知識・スキル (パラ言語)</p> <p>第 6回 読解方略 (1) 論理構成・展開の理解</p> <p>第 7回 読解方略 (2) 英文のつながりと重要語彙</p> <p>第 8回 読解方略 (3) 内容理解 (要約)</p> <p>第 9回 読解方略 (4) 内容理解 (Gist Making)</p> <p>第 10回 発表、聞き取り、質疑応答練習 (1) (日本語)</p> <p>第 11回 発表、聞き取り、質疑応答練習 (2) (日本語)</p> <p>第 12回 発表、聞き取り、質疑応答練習 (1) (英語)</p> <p>第 13回 発表、聞き取り、質疑応答練習 (2) (英語)</p> <p>第 14回 まとめ (1) 大学生として知るべき価値観、世界観、国内の歴史</p> <p>第 15回 まとめ (2) 大学生として知るべき価値観、世界観、国内の歴史</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示します				
成績評価の方法	プレゼンテーション (20%)、レポート (テキスト関連) (20%)、レポート (プレゼンテーション関連) (60%)				
実務経験について					

(注)経済専攻，経営情報専攻

授業科目	授業番号： 27			担当者	石原 知英
	英語 I (D)			授業外対応	原則授業後に行う。必要に応じてメールによる対応も可。
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語による自己発信（書くことと話すこと）と相互理解</p> <p>【概要】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ（あるいはプレゼンテーション）を聞いたり読んだりすることで、その構成や表現を理解するとともに、各自でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点や自分の考えなどを的確に伝え合うための活動を行います。</p> <p>【到達目標】(1) 300語程度のまとまりのある英語の文章を書くことができる。 (2) 事前に準備した上で、英語で3分程度のスピーチを行うことができる。 (3) 聞き手の理解に配慮しながら英語を話すことができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリントを配布する (2) 適宜紹介する				
授業 スケジュール	第 1回 授業ガイダンス（到達目標、スケジュールおよび毎時の課題の説明） 第 2回 最初のプレゼンテーション 第 3回 Informative Presentation 1: 時系列で述べる 第 4回 Informative Presentation 2: 話題ごとに述べる 第 5回 Informative Presentation 3: 分類して説明する 第 6回 Informative Presentation 4: 手順を説明する 第 7回 Informative Presentation 5: 定義して説明する 第 8回 中間プレゼンテーションと振り返り 第 9回 Persuasive Presentation 1: 賛成する・反対する 第 10回 Persuasive Presentation 2: 事実に基づいて主張する 第 11回 Persuasive Presentation 3: 改善策を提案する 第 12回 Persuasive Presentation 4: 因果関係を論じる 第 13回 Persuasive Presentation 5: 比較して主張する 第 14回 Persuasive Presentation 6: 反論を踏まえて主張する 第 15回 最終プレゼンテーションと振り返り				
授業外学習 (予習・復習)	スピーチ原稿の作成と発表に向けた練習（予習）、前時に学習した語句・表現および例文の確認（復習）				
成績評価の方法	毎週の授業内課題（小テスト 20%、振り返りシート 20%）クラスでの発表課題（中間プレゼンテーション 20%、最終プレゼンテーション 40%）				
実務経験について	なし				

(注)経済専攻，経営情報専攻

授業科目	授業番号： 28			担当者	石原 知英
	英語 I (D)			授業外対応	原則授業後に行う。必要に応じてメールによる対応も可。
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語による自己発信（書くことと話すこと）と相互理解</p> <p>【概要】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ（あるいはプレゼンテーション）を聞いたり読んだりすることで、その構成や表現を理解するとともに、各自でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点や自分の考えなどを的確に伝え合うための活動を行います。</p> <p>【到達目標】(1) 300語程度のまとまりのある英語の文章を書くことができる。 (2) 事前に準備した上で、英語で3分程度のスピーチを行うことができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリントを配布する (2) 適宜紹介する				
授業 スケジュール	第 1回 授業ガイダンス（到達目標、スケジュールおよび毎時の課題の説明） 第 2回 最初のプレゼンテーション 第 3回 Informative Presentation 1: 時系列で述べる 第 4回 Informative Presentation 2: 話題ごとに述べる 第 5回 Informative Presentation 3: 分類して説明する 第 6回 Informative Presentation 4: 手順を説明する 第 7回 Informative Presentation 5: 定義して説明する 第 8回 中間プレゼンテーションと振り返り 第 9回 Persuasive Presentation 1: 賛成する・反対する 第 10回 Persuasive Presentation 2: 事実に基づいて主張する 第 11回 Persuasive Presentation 3: 改善策を提案する 第 12回 Persuasive Presentation 4: 因果関係を論じる 第 13回 Persuasive Presentation 5: 比較して主張する 第 14回 Persuasive Presentation 6: 反論を踏まえて主張する 第 15回 最終プレゼンテーションと振り返り				
授業外学習 (予習・復習)	スピーチ原稿の作成と発表に向けた練習（予習）、前時に学習した語句・表現および例文の確認（復習）				
成績評価の方法	毎週の授業内課題（小テスト 20%、振り返りシート 20%）クラスでの発表課題（中間プレゼンテーション 20%、最終プレゼンテーション 40%）				
実務経験について	なし				

(注)経済専攻，経営情報専攻

授業科目	授業番号： 29		担当者	野田 ゆり子	
	英語 I (D)		授業外対応	講義終了時	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語で学ぶ日本の経済・社会</p> <p>【概要】本授業は、商経学科経営情報専攻1年生の必修科目です。初級から中級レベルの英語を学びながら、日本の経済や社会についての理解を深めます。授業ではリーディングを中心とし、毎回単語の小テストを行うことで定着度を確認します。(学生の関心に合わせて、英字新聞の読解などを取り入れることも検討しています。)最終的に、やや難易度の高い経済・ビジネス専門用語を読みこなせるようになることで、自身の専門分野に対する興味・関心を高めていくことを目標としています。</p> <p>【到達目標】日本の経済や社会をテーマとする英文を読解することで、自身の専門分野について多角的な視野を持てるようになる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Mark Chang and Kazuhisa Horiguchi. Japanese Economy and Society: Key Terms and Issues. Sanshusha.</p> <p>(2) 特になし</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 Unit1: Inbound Tourism (インバウンド・ツーリズム)</p> <p>第 2 回 Unit2: Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)</p> <p>第 3 回 Unit3: Aging Society (高齢化する社会)</p> <p>第 4 回 Unit4: Empowerment of Women (女性の社会進出)</p> <p>第 5 回 Unit5: Consumption Tax (消費税)</p> <p>第 6 回 Unit6: Deregulation (規制緩和)</p> <p>第 7 回 Unit7: Official Development Assistance (政府開発援助)</p> <p>第 8 回 Unit8: Microeconomics (ミクロ経済)</p> <p>第 9 回 Unit9: Macroeconomics (マクロ経済)</p> <p>第 10 回 Unit10: Balance of Payments (国際収支)</p> <p>第 11 回 Unit11: Strong Yen / Weak Yen (円高・円安)</p> <p>第 12 回 Unit12: Mergers and Acquisitions (M&A) (企業の合併・買収)</p> <p>第 13 回 Unit13: Individual Investors (個人投資家)</p> <p>第 14 回 Unit14: Big Data (ビッグデータ)</p> <p>第 15 回 Unit15: Fintech (フィンテック)</p>				
授業外学習 (予習・復習)	<p>予習：テキストに出てくる単語を調べておく、小テスト勉強</p> <p>復習：小テストで間違った部分を見直しておく</p>				
成績評価の方法	授業参加 (授業での発言内容) (20%) + 小テスト (40%) + 筆記試験 (40%)				
実務経験について	なし				

(注)経済専攻，経営情報専攻

授業科目	授業番号： 30			担当者	パトリック・ゴース
	英語Ⅱ (A)			授業外対応	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Eigo II is a multi skills English class practicing speaking, listening and reading.</p> <p>【概要】 Students will work have regular homework assignments.</p> <p>【到達目標】 The aim of the course is to develop their overall English abilities.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Smart Choice 2A Third Edition, Ken Wilson, Oxford University Press</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Class orientation</p> <p>第 2回 Unit 1 How was your vacation?</p> <p>第 3回 Unit 1 How was your vacation?</p> <p>第 4回 Unit 1 How was your vacation?</p> <p>第 5回 Unit 2 I think it's exciting!</p> <p>第 6回 Unit 2 I think it's exciting!</p> <p>第 7回 Unit 2 I think it's exciting!</p> <p>第 8回 Unit 3 Do it before you're 30!</p> <p>第 9回 Unit 3 Do it before you're 30!</p> <p>第10回 Unit 4 The best place in the world!</p> <p>第11回 Unit 4 The best place in the world!</p> <p>第12回 Unit 5 Where's the party?</p> <p>第13回 Unit 5 Where's the party?</p> <p>第14回 Unit 6 You should try it!</p> <p>第15回 Final Exam</p>				
授業外学習 (予習・復習)					
成績評価の方法	Final Exam (50%), Speaking test (30%), Quizzes (10%), Attendance (10%)				
実務経験について					

(注)教職必修，日本語日本文学専攻

授業科目	授業番号： 31			担当者	ニコライ・ギュレメトヴ
	英語Ⅱ (A)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This class will combine the 4 skills to allow students to express opinions about a variety of topics in English.</p> <p>【概要】 We will use handouts and videos in our class and discussions. They will depend on the student level and interests.</p> <p>【到達目標】 There will be pair work, group work and small practice presentations. Topics will vary each time.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) No designated textbook. Worksheets and handouts will be given at the beginning of each class.</p> <p>(2) プリントを配布する場合があります。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation class</p> <p>第 2回 Worksheet/pair work: Friendship</p> <p>第 3回 Worksheet/pair work: Happiness</p> <p>第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation</p> <p>第 5回 グループ発表 1 First presentation (scheduled)</p> <p>第 6回 Video Watch: share your opinion 1</p> <p>第 7回 Video Watch: share your opinion 2</p> <p>第 8回 Worksheet/pair work: Food</p> <p>第 9回 Worksheet/pair work: SDGs 1</p> <p>第 10回 Worksheet/pair work: SDGs 2</p> <p>第 11回 グループワーク 2 Group work, preparation for presentation</p> <p>第 12回 グループ発表 2 Second presentation</p> <p>第 13回 Worksheet/pair work: Travel</p> <p>第 14回 クラスワーク (コース復習) Revision of all topics covered.</p> <p>第 15回 まとめ (Final worksheet/Revision)</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	筆記試験 (50%) + グループ発表 30+ 作文 (宿題—20%) を基準に、総合的に評価する。				
実務経験について					

(注)教職必修, 日本語日本文学専攻

授業科目	授業番号： 32			担当者	デビッド・マルチネズ
	英語Ⅱ (B)			授業外対応	After the class
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 The course will provide students with basic speaking and listening skills.</p> <p>【概要】 Students will discuss selected topics and respond to opinions using clearly defined and easily reproduced conversation models. In-class activities will be supplemented with some homework assignments.</p> <p>【到達目標】 The course will emphasize reducing unnatural silence, confirming information and responding to questions concisely and accurately.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Course overview and survey</p> <p>第 2回 The 5 Ws for making/understanding questions</p> <p>第 3回 Describing a person</p> <p>第 4回 Clothing and fashion</p> <p>第 5回 Cooking and eating</p> <p>第 6回 Going and coming back, traveling</p> <p>第 7回 Complaining, recommending and commanding</p> <p>第 8回 Review Test 1</p> <p>第 9回 Hobbies and Weekend Activities</p> <p>第 10回 How to keep conversation going</p> <p>第 11回 Memories of childhood</p> <p>第 12回 Memories of other places</p> <p>第 13回 Talking about problems</p> <p>第 14回 Giving advice</p> <p>第 15回 Review Test 2</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%				
実務経験について					

(注)教職必修, 生活科学専攻

授業科目	授業番号： 33			担当者	デビッド・マルチネズ
	英語Ⅱ (B)			授業外対応	After the class
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 The course will provide students with basic speaking and listening skills.</p> <p>【概要】 Students will discuss selected topics and respond to opinions using clearly defined and easily reproduced conversation models. In-class activities will be supplemented with some homework assignments.</p> <p>【到達目標】 The course will emphasize reducing unnatural silence, confirming information and responding to questions concisely and accurately.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Course overview and survey</p> <p>第 2回 The 5 Ws for making/understanding questions</p> <p>第 3回 Describing a person</p> <p>第 4回 Clothing and fashion</p> <p>第 5回 Cooking and eating</p> <p>第 6回 Going and coming back, traveling</p> <p>第 7回 Complaining, recommending and commanding</p> <p>第 8回 Review Test 1</p> <p>第 9回 Hobbies and Weekend Activities</p> <p>第 10回 How to keep conversation going</p> <p>第 11回 Memories of childhood</p> <p>第 12回 Memories of other places</p> <p>第 13回 Talking about problems</p> <p>第 14回 Giving advice</p> <p>第 15回 Review Test 2</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%				
実務経験について					

(注)教職必修, 生活科学専攻

授業科目	授業番号： 34			担当者	ジョン・トレマーコ
	英語Ⅱ (C)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Everyday Conversation.</p> <p>【概要】 This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review the basic grammar needed to engage in those conversations.</p> <p>【到達目標】 To improve students' English communication skills.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) English with Hit Songs, Author(s): T. Kadoyama & S. Capper Publisher: Seibido				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Introduction and Orientation Explanation of course aims, tests, evaluation methods and teacher expectations. (導入ーコースの目標についての説明)</p> <p>第 2回 Unit 1: My heart will go on</p> <p>第 3回 Unit 2: Open arms</p> <p>第 4回 Unit 3: Life</p> <p>第 5回 Unit 4: Don't look back in anger</p> <p>第 6回 Unit 5: A whole new world</p> <p>第 7回 Unit 6: I don't want to miss a thing</p> <p>第 8回 Unit 7: Review 1</p> <p>第 9回 Unit 8: The stranger</p> <p>第 10回 Unit 9: Hey Now</p> <p>第 11回 Unit 10: Every time I close my eyes</p> <p>第 12回 Unit 11: Kiss of life</p> <p>第 13回 Unit 12: All I want for Christmas is you</p> <p>第 14回 Unit 13: Livin' la vida loca</p> <p>第 15回 Unit 14: Review 2 and Course Review; followed by an end of term test in week 16</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Classroom Contribution 20% Groupwork/Homework 40% Final Test 40%				
実務経験について					

(注) 教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	授業番号： 35			担当者	内尾ホープ
	英語Ⅱ (C)			授業外対応	講義終了時
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 The main objective is to improve reading, listening and speaking skills.</p> <p>【概要】 Students will mainly practice, reading, listening and speaking skills.</p> <p>【到達目標】 The emphasis will be on improving, reading, speaking and listening skills.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Undecided(未定)</p> <p>(2) Introduction and warm-up exercises</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Unit 1: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 2回 Unit 1 conversation quiz; Unit 2: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 3回 Unit 2 conversation quiz; Unit 3: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 4回 Unit 3 conversation quiz; Unit 4: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 5回 Unit 4 conversation quiz; Unit 5: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 6回 Unit 5 conversation quiz; Unit 6: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 7回 Unit 6 conversation quiz; Unit 7: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 8回 Unit 7 conversation quiz; Unit 8: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 9回 Unit 8 conversation quiz; Unit 9: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 10回 Unit 9 conversation quiz; Unit 10: Reading, listening and speaking activities</p> <p>第 11回 Unit 10 conversation quiz Unit 11; reading, listening and speaking activities</p> <p>第 12回 Unit 11 conversation quiz Unit 12; reading, listening and speaking activities</p> <p>第 13回 Unit 12 conversation quiz Unit 13; reading, listening and speaking activities</p> <p>第 14回 Unit 13 conversation quiz Unit 14; reading, listening and speaking activities</p> <p>第 15回 Unit 14 conversation quiz Unit 15; reading, listening and speaking activities</p>				
授業外学習 (予習・復習)	Exercises in the lesson will be given as homework.				
成績評価の方法	Oral quizzes: 15% Short Tests: 20% Final Exam: 65%				
実務経験について					

(注)教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	授業番号： 36			担当者	グレゴリー・ダン
	英語Ⅱ (D)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course develops the listening and speaking proficiency of students through the study of English in everyday situations.</p> <p>【概要】 Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to comprehend spoken English and to use English in short conversation and brief presentations.</p> <p>【到達目標】 Emphasis is placed on developing the students' ability to speak smoothly and naturally while engaging in short conversations.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Listen Up, Talk Back, Book 1. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Introduction of the course and key topics</p> <p>第 2回 Meeting New People</p> <p>第 3回 Home</p> <p>第 4回 Family</p> <p>第 5回 Transportation in the City</p> <p>第 6回 Shopping</p> <p>第 7回 Celebrations</p> <p>第 8回 Review Quiz</p> <p>第 9回 Volunteering</p> <p>第 10回 Staying Well</p> <p>第 11回 Pets</p> <p>第 12回 Free Time Activities</p> <p>第 13回 Music</p> <p>第 14回 Review of key units in class groups</p> <p>第 15回 Final Oral Review Practice in pairs</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Quizzes 20% Exams 30%				
実務経験について					

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	授業番号： 37			担当者	デビッド・マルチネズ
	英語Ⅱ (D)			授業外対応	After the class
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 The course will provide students with basic speaking and listening skills.</p> <p>【概要】 Students will discuss selected topics and respond to opinions using clearly defined and easily reproduced conversation models. In-class activities will be supplemented with some homework assignments.</p> <p>【到達目標】 The course will emphasize reducing unnatural silence, confirming information and responding to questions concisely and accurately.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Course overview and survey</p> <p>第 2回 The 5 Ws for making/understanding questions</p> <p>第 3回 Describing a person</p> <p>第 4回 Clothing and fashion</p> <p>第 5回 Cooking and eating</p> <p>第 6回 Going and coming back, traveling</p> <p>第 7回 Complaining, recommending and commanding</p> <p>第 8回 Review Test 1</p> <p>第 9回 Hobbies and Weekend Activities</p> <p>第 10回 How to keep conversation going</p> <p>第 11回 Memories of childhood</p> <p>第 12回 Memories of other places</p> <p>第 13回 Talking about problems</p> <p>第 14回 Giving advice</p> <p>第 15回 Review Test 2</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%				
実務経験について					

(注)教職必修, 経済専攻, 経営情報専攻

授業科目	授業番号： 38			担当者	グレゴリー・ダン
	英語Ⅱ (D)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course develops the listening and speaking proficiency of students through the study of English in everyday situations.</p> <p>【概要】 Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to comprehend spoken English and to use English in short conversation and brief presentations.</p> <p>【到達目標】 Emphasis is placed on developing the students' ability to speak smoothly and naturally while engaging in short conversations.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Listen Up, Talk Back, Book 1. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Introduction of the course and key topics</p> <p>第 2回 Meeting New People</p> <p>第 3回 Home</p> <p>第 4回 Family</p> <p>第 5回 Transportation in the City</p> <p>第 6回 Shopping</p> <p>第 7回 Celebrations</p> <p>第 8回 Review Quiz</p> <p>第 9回 Volunteering</p> <p>第 10回 Staying Well</p> <p>第 11回 Pets</p> <p>第 12回 Free Time Activities</p> <p>第 13回 Music</p> <p>第 14回 Review of key units in class groups</p> <p>第 15回 Final Oral Review Practice in pairs</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Quizzes 20% Exams 30%				
実務経験について					

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	授業番号： 39			担当者	ジョン・トレマーコ
	英語Ⅱ (D)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	必修	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Everyday Conversation.</p> <p>【概要】 This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review the basic grammar needed to engage in those conversations. If attitudes and abilities allow it, we will endeavour to introduce the business s</p> <p>【到達目標】 To improve students' English communication skills.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) English with Hit Songs, Author(s): T. Kadoyama & S. Capper Publisher: Seibido</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Introduction and Orientation Explanation of course aims, tests, evaluation methods and teacher expectations. (導入ーコースの目標についての説明)</p> <p>第 2回 Unit 1: My heart will go on</p> <p>第 3回 Unit 2: Open arms</p> <p>第 4回 Unit 3: Life</p> <p>第 5回 Unit 4: Don't look back in anger</p> <p>第 6回 Unit 5: A whole new world</p> <p>第 7回 Unit 6: I don't want to miss a thing</p> <p>第 8回 Unit 7: Review 1</p> <p>第 9回 Unit 8: The stranger</p> <p>第 10回 Unit 9: Hey Now</p> <p>第 11回 Unit 10: Every time I close my eyes</p> <p>第 12回 Unit 11: Kiss of life</p> <p>第 13回 Unit 12: All I want for Christmas is you</p> <p>第 14回 Unit 13: Livin' la vida loca</p> <p>第 15回 Unit 14: Review 2 and Course Review; followed by an end of term test in week 16</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Classroom Contribution 20% Groupwork/Homework 40% Final Test 40%				
実務経験(について)					

(注) 経済専攻, 経営情報専

授業科目	授業番号： 40			担当者	ジェイムズ・マレー
	英語Ⅲ (A)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This is a course for practicing all skills in English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and Comprehension.</p> <p>【概要】 Lectures will teach vocabulary, phrases, and grammar that is used in everyday English conversation. Students will learn useful English for introductions, expressing emotions, making excuses and explanations, etc. Relaxed group discussions will give students an opportunity to practice these skills.</p> <p>【到達目標】 The aim of this course is to learn the basic skills of English used in everyday life, and to improve confidence in communicating and expressing oneself.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Helgesen, Wiltshier, Brown 「English Firsthand 2」 (Fifth Edition) Pearson, 2018 (ISBN: 9789813130234)</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Unit 1: Introductions and Relationships</p> <p>第 2回 Unit 1: Using Simple past; Simple present; Present perfect; Present Continuous</p> <p>第 3回 Unit 2: Feelings and Emotions</p> <p>第 4回 Unit 2: Using Conditionals; Adjectives for emotions</p> <p>第 5回 Quiz (1) and Discussion</p> <p>第 6回 Unit 3: Making Recommendations</p> <p>第 7回 Unit 3: Comparatives and Superlatives to describe places; Amplifiers for comparisons</p> <p>第 8回 Unit 4: Sharing opinions; Agreeing and Disagreeing</p> <p>第 9回 Unit 4: Using Superlatives to describe events; Tag questions</p> <p>第 10回 Quiz (2) and Discussion</p> <p>第 11回 Unit 5: Excuses and Requests; Accepting and Refusing</p> <p>第 12回 Unit 5: Using Could and Would; Using clauses in complex sentences</p> <p>第 13回 Unit 6: Culture differences; Symbols</p> <p>第 14回 Unit 6: Using wh~ questions; Relative pronouns</p> <p>第 15回 Final Exam</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Class participation 授業での参加の度合 (25%), Tests 試験 (50%), Homework 宿題 (25%)				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 41			担当者	グレゴリー・ダン
	英語Ⅲ (B)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course focuses on the use of conversational English in everyday settings and situations.</p> <p>【概要】 Students will listen to short conversations, practice short conversations, and develop/create their own conversations. Student will create role plays and perform them before the class.</p> <p>【到達目標】 This course aims to develop and strengthen the students' proficiency in conversational English.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Listen to this! (Intermediate) by James Bean with Gillian Flaherty, (Seibido Press) (2)				
授業 スケジュール	第 1回 Introduction to the course and key topics. "Please leave a message" 第 2回 You need a break! 第 3回 I think we're lost 第 4回 Where did you grow up? 第 5回 It's a goal! 第 6回 Sightseeing 第 7回 TV violence 第 8回 I'd like to return this 第 9回 What a great vacation! 第 10回 Can you help me with my essay? 第 11回 What happens to our trash? 第 12回 I feel terrible 第 13回 Future plans 第 14回 I disagree! 第 15回 Review and Conversational Practice				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Short Presentations 30%, Homework 20%, Quizzes 20%, Exams 30 %				
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations				

授業科目	授業番号： 42			担当者	金岡 正夫
	英語Ⅲ (C)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】大学生の視点から幅広く社会観や世界観を身につける。自国の歴史、開国と英語の到来の明治期、英語学習の動機づけなどを扱う。</p> <p>【概要】テキストを使いながら人生進路を含め、自身のアイデンティティ構築に取り組む。積極的に日本語（母語）と英語（外国語）を活用していく。予習課題をもとに音読とライティングの学習強化をはかる。</p> <p>【到達目標】スムーズに音読ができ、自分の考えや意見を英語で述べる。論理的な内容を日本語と英語で作れるよう、ライティング知識も習得していく。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 良質なテキストで自己成熟&英語成熟をめざして（英宝社）ISBN 978-4-269-13017-3</p> <p>(2) 特になし</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 音読知識とテクニック (1) 発音、アクセント</p> <p>第 3回 音読知識とテクニック (2) チャンキングルールとフレーズリーディング</p> <p>第 4回 音読知識とテクニック (3) 連結発音（リエゾン）に関するルールの理解と実践</p> <p>第 5回 音読知識とテクニック (4) Words Per Minute (WPM) を使った安定した速読練習</p> <p>第 6回 音読知識とテクニック (5) パラ言語の理解と応用実践</p> <p>第 7回 音読知識とテクニック (6) 学習したすべての項目を統合したスピーキング練習 (1)</p> <p>第 8回 音読知識とテクニック (6) 学習したすべての項目を統合したスピーキング練習 (2)</p> <p>第 9回 英文読解に向けた方略 (1) テキストの論理の流れの理解（タテのつながり）</p> <p>第 10回 英文読解に向けた方略 (2) テキストの論理の流れの理解（ヨコのつながり）</p> <p>第 11回 自身の考えを述べる—論理的な内容構築の練習</p> <p>第 12回 自身の考えを述べる—英文読解をふまえた要約づくりの練習</p> <p>第 13回 自身の考えを述べる—英文読解をふまえたポイント中心の要約づくりの練習</p> <p>第 14回 まとめ—自分自身にとって英語とは？その学習の存在意義とは？</p> <p>第 15回 まとめ—大学生としてもつべき価値観、信念、生き方とは？</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示します				
成績評価の方法	プレゼンテーション (20%)、レポート (テキスト関連) (20%)、レポート (プレゼンテーション関連) (60%)				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 43			担当者	グレゴリー・ダン
	英語Ⅲ (D)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course focuses on developing the student's ability to talk about topics related to science and nutrition.</p> <p>【概要】 Students will listen to short talks, read the talks for comprehension and practice short conversations related to them. Students will have opportunities to develop/create their own conversations related to the topics. The topics encountered in the text w</p> <p>【到達目標】 This course developsthe students' proficiency in English related to science and nutrition.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Healthy Habits for a Better Life (2)				
授業 スケジュール	第 1回 Introductions 第 2回 Sleep is Important 第 3回 Is Salt Bad for Us? 第 4回 Water is Wonderful 第 5回 Hot Springs: A Miracle of Nature 第 6回 Healthy Lessons from the Blue Zone 第 7回 Unhealthy Habits 第 8回 Let's Dance! 第 9回 The Story of Sugar 第 10回 Companion Animals 第 11回 Music and Medicine 第 12回 Please Listen to Me! 第 13回 Let's Eat Together! 第 14回 Believe in Yourself! 第 15回 Review				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Short Presentations 30%, Homework 20%, Quizzes 20%, Exams 30 %				
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations				

授業科目	授業番号： 44			担当者	グレゴリー・ダン
	英語Ⅲ (E)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course focuses on the use of conversational English while developing the students' ability to express opinions.</p> <p>【概要】 Students will listen to short conversations, practice short conversations, and develop/create their own conversations. They will learn how to express their opinions and engage in short discussions related to the topics encountered in the text.</p> <p>【到達目標】 This course develops the students' proficiency in everyday conversational English and express opinions on a variety of topics.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Complete Communication (2)				
授業 スケジュール	第 1回 Introduction to the Course 第 2回 What are you into – Talking about Hobbies and Interests 第 3回 Who' are they – Talking about friends and family 第 4回 What shall we watch? - Talking about Movies and TV 第 5回 What are you listening to? - Talking about Music 第 6回 What are you reading? – Talking about books 第 7回 I'm hungry - Talking about Food 第 8回 Review 1 第 9回 How do you stay fit? Talking about Health 第 10回 I don't feel so good – Talking about Illness 第 11回 Why do you do that? – Talking about Culture 第 12回 It's a special day - Talking about Holidays and Festivals 第 13回 I've never done that before – Talking about experiences 第 14回 Let's meet in Paris! Talking about the Future 第 15回 Review				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Short Presentations 30%, Homework 20%, Quizzes 20%, Exams 30 %				
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations				

授業科目	授業番号： 45			担当者	新福 豊実
	英語Ⅲ (F)			授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】</p> <p>英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】 日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】 日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Success』 Pearson Longman</p> <p>(2) 授業時に適宜指示する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Class overview: Learning goals and strategies (Unit zero)</p> <p>第 2回 Introduce yourself to a partner/Talk about your hobbies and interests (Unit 1)</p> <p>第 3回 Describe the clothes you are wearing/Talk about fashions you enjoy (Unit 2)</p> <p>第 4回 Give advice about staying healthy/Ask about your partner's habits (Unit 3)</p> <p>第 5回 Ask for and give directions to a place/Identify places in your community (Unit 4)</p> <p>第 6回 Describe different objects/Listen to your partner describe an object (Unit 5)</p> <p>第 7回 Talk about your goals/Ask about your partner's goals (Unit 6)</p> <p>第 8回 Review I</p> <p>第 9回 Talk about your past experiences/Ask your partner about past experiences (Unit 7)</p> <p>第 10回 Describe animals and nature/Ask questions about animals and nature (Unit 8)</p> <p>第 11回 Talk about things you can and can't do/Ask your partner about what he or she can and can't do (Unit 9)</p> <p>第 12回 Ask about likes and dislikes/Invite someone to do something you like with you (Unit 10)</p> <p>第 13回 Talk about rules and laws in other countries/Describe what people in your life should or shouldn't do (Unit 11)</p> <p>第 14回 Make up a story and tell it to your partner/Tell a story you know to your partner (Unit 12)</p> <p>第 15回 Review II</p>				
授業外学習 (予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。				
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (40%) 課題 (20%)				
実務経験について	なし				

(注) 日本語日本文学専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

授業科目	授業番号： 46			担当者	デビッド・マルチネズ
	英語Ⅲ (G)			授業外対応	After the class
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 The class further develops skills to help English ability.</p> <p>【概要】 Students will learn to identify topics for discussion and utilize rhetorical strategies in order to initiate or participate in basic debate. Using clear conversation models, students should be able to identify a topic, give their opinions and support thei</p> <p>【到達目標】 This course will help students organize ideas, form opinions and provide reasons in order to have more meaningful English conversations.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Course overview and survey</p> <p>第 2回 Music and Movies</p> <p>第 3回 Polite English & negative expressions</p> <p>第 4回 Inviting and declining</p> <p>第 5回 Reporting what someone else said</p> <p>第 6回 Talking about feelings</p> <p>第 7回 Stress and intonation</p> <p>第 8回 Review Test 1</p> <p>第 9回 Finding issues and giving opinions</p> <p>第 10回 Giving reasons</p> <p>第 11回 Supporting your reasons</p> <p>第 12回 Debate practice</p> <p>第 13回 Confirming and summarizing a thought</p> <p>第 14回 Refuting someone's argument</p> <p>第 15回 Review Test 2</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 47			担当者	ジョン・トレマーコ
	英語Ⅳ (A)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Everyday Conversation.</p> <p>【概要】 This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review the basic grammar needed to engage in those conversations.</p> <p>【到達目標】 To improve students' communication skills.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) English with Pop Hits; Author(s): T. Kadoyama & S. Capper Publisher: Seibido</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Introduction and Orientation Explanation of course aims, tests, evaluation methods and teacher expectations. (導入ーコースの目標についての説明)</p> <p>第 2回 Unit 1: Complicated</p> <p>第 3回 Unit 2: SOS</p> <p>第 4回 Unit 3: You are not alone</p> <p>第 5回 Unit 4: Don't want to lose you</p> <p>第 6回 Unit 5: How crazy are you</p> <p>第 7回 Unit 6: Sunday Morning</p> <p>第 8回 Unit 7: Review 1</p> <p>第 9回 Unit 8: I want it that way</p> <p>第10回 Unit 9: Suddenly I see</p> <p>第11回 Unit 10: How am I supposed to live without you</p> <p>第12回 Unit 11: Save the best for Last</p> <p>第13回 Unit 12: Torn</p> <p>第14回 Unit 13: La La means I love you</p> <p>第15回 Unit 14: Review 2 and Course Review; followed by an end of term test in week 16</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Classroom Contribution 20% Groupwork/Homework 40% Final Test 40%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 48			担当者	グレゴリー・ダン
	英語Ⅳ (B)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course aims to develop the English listening and speaking proficiency of students in everyday situations.</p> <p>【概要】 Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to comprehend spoken English and to use English with confidence in conversation and brief presentations. Students will also have the opportunity</p> <p>【到達目標】 Emphasis is placed on developing the students' ability to speak English smoothly and naturally while engaging in short conversations.</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Listen Up, Talk Back, Book 2. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 Introduction of the course and key topics</p> <p>第 2回 Campus Life</p> <p>第 3回 Health Care</p> <p>第 4回 My Favorite Things</p> <p>第 5回 International Travel</p> <p>第 6回 Weather</p> <p>第 7回 Education</p> <p>第 8回 Review Quiz</p> <p>第 9回 Exploring a New City</p> <p>第10回 Learning English</p> <p>第11回 Money</p> <p>第12回 The Environment</p> <p>第13回 News</p> <p>第14回 Review of key units in class groups</p> <p>第15回 Final Oral Review Practice in pairs</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Quizzes 20% Exams 30%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 49			担当者	金岡 正夫
	英語Ⅳ (D)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】自己成長と英語学習の成熟に向け、卒業までに重要となる考え方、人生観、世界観を学んでいく。</p> <p>【概要】実社会や海外に通用する大学生づくりとは何か—どうすればそれが構築していけるのか、英文読解を介して進めていく。担当教員の個人体験（米国大学院留学生活）も紹介する。授業では考えたり話し合いをもとに内容理解を深め、予習課題を通して確かな自分づくりにつなげていく。同時に英語の本質（存在意義）についても理解を広めていく。</p> <p>【到達目標】世界トップレベルの大学が考えている「大学生力」や「人生の成功の意味」を理解する。関連した格言（座右の銘）も理解する。自分が持つべき信念や価値観も明らかにし、英語で述べていく。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 良質なテキストで自己成熟&英語成熟をめざして（英宝社）ISBN 978-4-269-13017-3</p> <p>(2) 特になし</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 米国の大学入試問題（エッセイ）が重視すること</p> <p>第 3回 米国の大学教育で伝統的に重視する点とその理由</p> <p>第 4回 英国の大学入試問題で試されること</p> <p>第 5回 英国の大学がもっているこだわりと信念</p> <p>第 6回 日本の大学教育と欧米の大学教育との違いとその背景（1）</p> <p>第 7回 日本の大学教育と欧米の大学教育との違いとその背景（2）</p> <p>第 8回 まとめ</p> <p>第 9回 グローバル時代の英語学習者と英語学習動機づけ</p> <p>第 10回 グローバル社会の功罪について大学で議論すべきこと</p> <p>第 11回 英語の達人とされる日本人—その歴史的偉業と大切にした価値観・信念（1）</p> <p>第 12回 英語の達人とされる日本人—その歴史的偉業と大切にした価値観・信念（2）</p> <p>第 13回 英語の達人とされる日本人—その歴史的偉業と大切にした価値観・信念（3）</p> <p>第 14回 自分自身にとって英語とは？その学習の存在意義とは？</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示します				
成績評価の方法	プレゼンテーション（20%）、レポート（テキスト関連）（20%）、レポート（プレゼンテーション関連）（60%）				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 50			担当者	野田 ゆり子
	英語Ⅳ (E)			授業外対応	講義終了時
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英検2級対策</p> <p>【概要】本授業は、英検対策を目的としたクラスです。Listening と Reading の問題を解いていくだけでなく、単語テストを行ったり、Writing を学生同士で添削し合ったり、面接の対策を行ったりすることで、英語の四技能 (Listening, Reading, Writing, Speaking) をバランス良く向上させます。自分の弱点を発見し、個々の課題に向かって取り組むことで、英検2級合格レベルの英語力に到達することを最終的な目標としています。</p> <p>【到達目標】英語の四技能 (Listening, Reading, Speaking, Writing) をバランスよく向上させ、英検2級レベルに到達する。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Hiromi Imamura et al. Path to Success (英検2級 サクセスパス) . Kinseido. Judith Nadell et al. Vocabulary Basics. Seibido.</p> <p>(2) 特になし</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 Introduction: 英検2級ミニテスト (弱点の確認)</p> <p>第2回 Lesson1: Reading and Listening</p> <p>第3回 Lesson2: Reading and Listening</p> <p>第4回 Lesson3: Reading and Listening</p> <p>第5回 Lesson4: Reading and Listening</p> <p>第6回 Vocabulary Quiz1、Writing</p> <p>第7回 Lesson5: Reading and Listening</p> <p>第8回 Lesson6: Reading and Listening</p> <p>第9回 Lesson7: Reading and Listening</p> <p>第10回 Lesson8: Reading and Listening</p> <p>第11回 Vocabulary Quiz2、Writing</p> <p>第12回 英検2級模擬テスト (Reading and Listening)</p> <p>第13回 英検2級模擬テスト (Reading and Listening 答え合わせ、Writing)</p> <p>第14回 二次試験面接対策</p> <p>第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	<p>予習：単語の勉強</p> <p>復習：授業で間違えた問題を見直しておく</p>				
成績評価の方法	授業参加 (授業での発言内容) (20%) + Vocabulary Quiz (40%) + 復習テスト (40%)				
実務経験について	なし				

授業科目	授業番号： 51			担当者	英語担当教員全員
	異文化コミュニケーション (英語)			授業外対応	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	指定なし	通年	2単位	選択	実習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 生きた英語の運用能力を高める。</p> <p>【概要】 ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジで研修を行う。授業は英語研修とハワイ文化研修から成り立ち、滞在期間中、基礎的な生活英語とハワイの文化習慣などについて直接体験する。 2024年度の実績</p> <p>日程：9月10日～9月25日</p> <p>参加者：10名</p> <p>研修費用：約47万円※1ドルが145円～160円の場合（授業料，往復航空運賃，宿泊費，平日の朝・昼食費等）</p> <p>【到達目標】 英語運用能力を高めるだけでなく、ハワイの文化を学び、多文化が共生するハワイで「国際化」「グローバル化」の意味を自らの実体験を通して考え、理解する。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) ハワイ大学附属カピオラニ・コミュニティ・カレッジの担当教員が指示</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 事前指導： 特設時間を利用して受講希望者に3～4回行う。ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジでの研修内容の説明，パスポートの取得方法など，海外渡航に伴うさまざまな必要事項の説明，課題（研修中の日記，研修後のレポート作成）の指示など。</p> <p>第 2回 海外研修： 9月を予定（約2週間）。現地の大学では，午前中に英語の授業，午後にハワイ文化に関する授業（フラダンス），KCC 学生との異文化交流。その他，学外授業としてプランテーションヴィレッジ，イオラニ宮殿，真珠湾の見学。</p> <p>第 3回 事後指導：帰国後に総括。</p> <p>第 4回</p> <p>第 5回</p> <p>第 6回</p> <p>第 7回</p> <p>第 8回</p> <p>第 9回</p> <p>第 10回</p> <p>第 11回</p> <p>第 12回</p> <p>第 13回</p> <p>第 14回</p> <p>第 15回</p>				
授業外学習 (予習・復習)					
成績評価の方法	担当教員が課した課題（研修日誌・体験記）（50%）とハワイでの研修状況（50%）で評価する。				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 52			担当者	中国語担当教員全員
	異文化コミュニケーション (中国語)			授業外対応	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	指定なし	通年	2単位	選択	実習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 生きた中国語の運用能力を高める。</p> <p>【概要】 南京農業大学国際教育学院で研修を行います。南京農業大学国際教育学院は、わたしたち県立短大と交流協定を結んでいる中国の大学です。この科目は、中国語研修と中国文化研修から成り立ちます。中国滞在期間中、基礎的な実用中国語を習得し、さらに、南京農業大学の学生と交流し、中国の文化習慣などについて直接体験します。</p> <p>中国語を用いて活動するため、あらかじめ「中国語 I」を受講または修得していることが履修条件になります。</p> <p>※2019年度中国研修の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：9月7日(土)～21日(土) [15日間] ・参加者：11名(<p>【到達目標】【到達目標】「国際化」の意味を自らの実体験を通して考え理解する。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 南京農業大学国際教育学院の担当教員が指示します。</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 事前指導 受講希望者に3～5回行います。</p> <p>[1] 南京農業大学国際教育学院での研修内容の説明，</p> <p>[2] 海外渡航に伴うさまざまな事柄の説明，</p> <p>[3] 課題(レポート作成)の指示などです。</p> <p>第 2回 海外研修 休業期間に約2週間実施予定です。現地の大学で中国語の授業を受けます。そのほか、さまざまな活動を通じて中国の生活・文化に関する体験をします。さらに南京農業大学外国語学院日本語専攻の学生と交流します。</p> <p>第 3回 事後指導 帰国後に総括します。</p> <p>第 4回</p> <p>第 5回</p> <p>第 6回</p> <p>第 7回</p> <p>第 8回</p> <p>第 9回</p> <p>第 10回</p> <p>第 11回</p> <p>第 12回</p> <p>第 13回</p> <p>第 14回</p> <p>第 15回</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	担当教員が課した課題(50%)、および中国での学習成果(50%)を基に成績を算出します。				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 53		担当者	ガルシア・アロヨ ホルヘ	
	スペイン語 I		授業外対応	オフィスアワー及びメール。	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】本コースは、スペイン語の基本的な能力を身につけることに重点を置いています。</p> <p>【概要】スペインとヒスパニック文化に関する様々なトピックを通して、スペイン語の基本概念を学びます。</p> <p>【到達目標】本コースでは、スペイン文化に基づく日常会話に適応した基本的なスペイン語の語彙と表現を習得し、使用します。同時に、リスニング力を深め、会話や他のアクティビティに登場文法の学習を通して基本的なスペイン語の知識を強化します</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Óscar Cerrolaza Gili, Matilde Cerrolaza Aragón, Begoña Llovet Barquero. Pasaporte ELE nivel 1. Edelsa.</p> <p>(2) なし</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 コースの紹介。</p> <p>第 2回 ユニット1 自己紹介：語彙力：名前なんですか？どこの出身ですか？ 個人情報・文法力：ser と llamarse 動詞の現在形・スピーキング：相手の名前と出身地を尋ねる, 知らせ。</p> <p>第 3回 ユニット1 自己紹介：語彙力：数字 (I)・スピーキング：個人情報を教える・文法力：tener 動詞の現在形・公式および非公式の挨拶。</p> <p>第 4回 ユニット1 自己紹介：語彙力：職業と住所・スピーキング：自分の職業について話す・現在形の3つの活用の規則の動詞・文化：有名なスペイン人とヒスパニック</p> <p>第 5回 ユニット2 友人と家族：語彙力：家族・文法力：身体的な描写・スピーキング：人を身体的に描写する・文化：ヒスパニックの世界の名前。</p> <p>第 6回 ユニット2 友人と家族：語彙力：性格を表す形容詞・文法力：gustar 動詞の現在形・スピーキング：友人や家族の性格については話す・言語ツール：礼儀たたくする</p> <p>第 7回 ユニット2 友人と家族：文法力：指示限定詞・ヒスパニックの家族・家族のお祝い・ユニット1・2のテスト (復習)。</p> <p>第 8回 ユニット3 食べ物：語彙力：食品・性別, 数そして定冠詞・自分の好き嫌いとは頻度について話す・タパスを食べにく・短縮形</p> <p>第 9回 ユニット3 食べ物：語彙力：数字(II) と重量と尺度・文法力：parecer 動詞の現在形・(スピーキング：好みや意見を述べる)。</p> <p>第 10回 ユニット3 食べ物：語彙力：スペインの食事のコース・文化：いろいろな食べ方・スピーキング：レストランでの注文する・文法力：不定冠詞。</p> <p>第 11回 ユニット4 場所：語彙力：街・文法力：Mucho と muy+haber と estar 動詞・スピーキング：近所を描写する・文化：村の広場。</p> <p>第 12回 ユニット4 場所：スピーキング：住所を尋ね方・教え方・語彙力：公共施設及び商業施設・文法力：Ir, seguir, hacer の不規則動詞と交通手段を伴う前置詞。</p> <p>第 13回 ユニット4 場所：文法力：序数・言語のツール：注目を集める・情報を提供する・スピーキング：距離の応じて場所を配置する・ユニット3・4のテスト (復習)。</p> <p>第 14回 特別活動</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	ユニットテスト 60%+最終テスト 40%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 54		担当者	ガルシア・アロヨ ホルヘ	
	スペイン語Ⅱ		授業外対応	オフィスアワー及びメール。	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】本コースは、スペイン語の基本的な能力を身につけることに重点を置いています。</p> <p>【概要】スペインとヒスパニック文化に関する様々なトピックを通して、スペイン語の基本概念を学びます。</p> <p>【到達目標】本コースでは、スペイン文化に基づく日常会話に適応した基本的なスペイン語の語彙と表現を習得し、使用します。同時に、リスニング力を深め、会話や他のアクティビティに登場文法の学習を通して基本的なスペイン語の知識を強化します</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Óscar Cerrolaza Gili, Matilde Cerrolaza Aragón, Begoña Llovet Barquero. Pasaporte ELE nivel 1. Edelsa.</p> <p>(2) なし</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 コースの紹介。</p> <p>第 2回 ユニット1 日常生活：語彙力：日常動作動詞と1日の部分・文法力：二重母音を持つ不規則動詞・スピーキング：頻度について話す。言語のツル：守護聖人の祭り</p> <p>第 3回 ユニット1 日常生活：言語のツル：営業時間・スピーキング：時間を尋ね、知らせる・語彙力：曜日、月、季節・文法力：時間を表す前置詞・スペル：二重母音とスペイン語の”hache”</p> <p>第 4回 ユニット1 日常生活：語彙力：フェア・スピーキング：予約をとる・文法力：前置詞を伴う人称代名詞と前置詞を伴わない人称代名詞)・言語のツル：挨拶の形式・文化：スペインとメキシコの祭り。</p> <p>第 5回 ユニット2 計画とプロジェクト：スピーキング：友人と会う・文法力：ir a +不定詞, pensar 動詞 + 不定詞, querer 動詞 + 不定詞・語彙力：レジャー・言語のツル：会う・言い訳をする</p> <p>第 6回 ユニット2 計画とプロジェクト：語彙力：観光スポット・スピーキング：比較・文法力：比較・文化：スペイン人と休日。</p> <p>第 7回 ユニット2 計画とプロジェクト：語彙力：電話・スピーキング：電話で話す・文法力：estar 動詞 + 動名詞, acabar de 動詞 + 不定詞・(発音力：「r」の音・文化：スペイン語と音楽</p> <p>第 8回 ユニット1-2のテスト・ユニット3 人：語彙力：性格の形容詞と気分の状態・スピーキング：性格と気分の状態について話す・文法力：形容詞を伴う ser 動詞と estar 動詞の使い方・言語のツル：愛称</p> <p>第 9回 ユニット3 人：スピーキング：好みを表現する・語彙力：スポーツ・文法力：名詞の性別・言語のツル：褒める。</p> <p>第 10回 ユニット3 人：語彙力：プロフェッショナルの特徴・スピーキング：意見と因果を述べる・文法力：因果関係の文章・言語のツル：社会的な感嘆詞・文化：ドン・キホーテ</p> <p>第 11回 ユニット4 過去の経験：語彙力：人の人生について語る動詞・文法力：不定過去形・発音と綴り力：hacer 動詞の不定過去形の中の ce と z)・スピーキング：過去を語る・言語のツル：人生の段階。</p> <p>第 12回 ユニット4 過去の経験：語彙力：芸術的スタイルと絵画を説明するための用語・発音と綴り力：cc スペキング：博物館ホールの詳細を見る cl と c+ 子音の語彙グループの発音・文法力：時間マーカー</p> <p>第 13回 ユニット4 過去の経験：文法力：hace, hace que と desde hace・スピーキング：距離の応じて場所を配置する・発音と綴り力：ce, zeta と cu・ユニット3・4のテスト</p> <p>第 14回 特別活動</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	ユニットテスト 60%+最終テスト 40%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 55			担当者	荒巻 那月
	ドイツ語 I			授業外対応	メールにて対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】音読を中心にドイツ語の基礎を学び、文法構造を修得する。</p> <p>【概要】現在ヨーロッパでは、EU（ヨーロッパ連合、つまりヨーロッパの統一）という歴史的な大実験が進行中で、ドイツはフランスと共にこの動きの中核をなす国の一つです。またドイツ語は1億2000万弱の母国語人口を擁し、ヨーロッパに限れば最大の言語とすることができます。このように、社会的・文化的に大きな影響力を持つ現代ドイツの事情に関する話を適宜盛り込みながらドイツ語を学習します。ほとんどの人にとっては初めて習う外国語ですが、授業は元気に声を出して簡単な練習を何度も繰り返すやり方で進めます。</p> <p>【到達目標】1年間の学習で、自己紹介から日常生活の簡単な会話表現を身に付け、ドイツ語のしくみの概観を得ることが目標です。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 荻野蔵平・Tobias Bauer 著 『青春はうるわし』 朝日出版社</p> <p>(2) 在間進 他『アクセス独和辞書』 三修社</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 ドイツ語及びドイツ語圏について、文字、アルファベット</p> <p>第2回 綴り字と発音の規則、発音練習</p> <p>第3回 第1課 人称と動詞の現在人称変化、定動詞の位置、動詞 sein</p> <p>第4回 第1課</p> <p>第5回 第1課</p> <p>第6回 第2課 名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化、動詞 haben</p> <p>第7回 第2課</p> <p>第8回 第2課</p> <p>第9回 第3課 名詞の複数形、複数名詞の格変化、男性弱変化名詞</p> <p>第10回 第3課</p> <p>第11回 第4課 不規則動詞、命令形、人称代名詞、動詞 werden</p> <p>第12回 第4課</p> <p>第13回 第4課</p> <p>第14回 これまでの復習</p> <p>第15回 復習と試験の説明</p>				
授業外学習 (予習・復習)	1回の授業につき、予習1時間、復習1時間が必要				
成績評価の方法	筆記試験 80%、授業への参加状況 20%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 56			担当者	荒巻 那月
	ドイツ語Ⅱ			授業外対応	メールにて対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】音読を中心にドイツ語の基礎を学び、文法構造を修得する。</p> <p>【概要】現在ヨーロッパでは、EU（ヨーロッパ連合、つまりヨーロッパの統一）という歴史的な大実験が進行中で、ドイツはフランスと共にこの動きの中核をなす国の一つです。またドイツ語は1億2000万弱の母国語人口を擁し、ヨーロッパに限れば最大の言語とすることができます。このように、社会的・文化的に大きな影響力を持つ現代ドイツの事情に関する話を適宜盛り込みながらドイツ語を学習します。ほとんどの人にとっては初めて習う外国語ですが、授業は元気に声を出して簡単な練習を何度も繰り返すやり方で進めます。</p> <p>【到達目標】1年間の学習で、自己紹介から日常生活の簡単な会話表現を身に付け、ドイツ語のしくみの概観を得ることが目標です。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 荻野蔵平・Tobias Bauer 著 『青春はうるわし』 朝日出版社</p> <p>(2) 在間進 他『アクセス独和辞書』 三修社</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 前期の復習</p> <p>第2回 第5課 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形</p> <p>第3回 第5課</p> <p>第4回 第5課</p> <p>第5回 第6課 定冠詞類、不定冠詞類、否定の nicht、否定冠詞 kein</p> <p>第6回 第6課</p> <p>第7回 第7課 分離動詞、非分離動詞、副文、従属接続詞</p> <p>第8回 第7課</p> <p>第9回 第7課</p> <p>第10回 第8課 話法の助動詞、未来形</p> <p>第11回 第8課</p> <p>第12回 第9課と10課 動詞の三基本形、過去人称変化、現在完了、非人称の es</p> <p>第13回 第9課と10課</p> <p>第14回 これまでの復習</p> <p>第15回 復習と試験の説明</p>				
授業外学習 (予習・復習)	1回の授業につき、予習1時間、復習1時間が必要				
成績評価の方法	筆記試験 80%、授業への参加状況 20%				
実務経験について					

授業科目	授業番号： 57			担当者	梁川 英俊
	フランス語 I (A)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】フランス語の基礎を学びます。</p> <p>【概要】フランス語はフランスのみならず、ベルギー、スイス、カナダ、中東、アフリカ諸国など広い地域で話される国際語です。フランス語を公用語とする国は 28 カ国に及び、国連などの主要な国際機関でも公用語として使用されています。スペイン語、イタリア語、ポルトガル語などとも共通点が多く、歴史的に英語にも多くの語彙を提供し、英語の語彙の 3 分の 1 はフランス語に由来すると言われています。フランス語はまた、お洒落や美食を語る上でも欠かせない言葉です。</p> <p>【到達目標】まずはフランス語をしっかりと発音できるようにし、そのうえで簡単な日常会話のフレーズも覚えましょう。授業中に集中すれば大丈夫です。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 『プチ・マエストロ』(朝日出版社)</p> <p>(2) 適宜指示する</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 授業全体の説明, アルファベットの発音など</p> <p>第 2 回 Leçon 1</p> <p>第 3 回 Leçon 1</p> <p>第 4 回 Leçon 2</p> <p>第 5 回 Leçon 2</p> <p>第 6 回 Leçon 3</p> <p>第 7 回 Leçon 3</p> <p>第 8 回 Leçon 4</p> <p>第 9 回 Leçon 4</p> <p>第 10 回 Leçon 5</p> <p>第 11 回 Leçon 5</p> <p>第 12 回 Leçon 6</p> <p>第 13 回 Leçon 6</p> <p>第 14 回 まとめ 1</p> <p>第 15 回 まとめ 2</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	筆記試験 (70%) + 小テスト (30%)				
実務経験について					

英語英文専攻 1 年次(A)

授業科目	授業番号： 58			担当者	梁川 英俊
	フランス語 I (B)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】フランス語の基礎を学びます。</p> <p>【概要】フランス語はフランスのみならず、ベルギー、スイス、カナダ、中東、アフリカ諸国など広い地域で話される国際語です。フランス語を公用語とする国は 28 カ国に及び、国連などの主要な国際機関でも公用語として使用されています。スペイン語、イタリア語、ポルトガル語などとも共通点が多く、歴史的に英語にも多くの語彙を提供し、英語の語彙の 3 分の 2 はフランス語に由来すると言われています。フランス語はまた、お洒落や美食を語る上でも欠かせない言葉です。</p> <p>【到達目標】まずはフランス語をしっかりと発音できるようにし、そのうえで簡単な日常会話のフレーズも覚えましょう。授業中に集中すれば大丈夫です。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 『プチ・マエストロ』(朝日出版社)</p> <p>(2) 適宜指示する</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 授業全体の説明, アルファベットの発音など</p> <p>第 2 回 Leçon 1</p> <p>第 3 回 Leçon 1</p> <p>第 4 回 Leçon 2</p> <p>第 5 回 Leçon 2</p> <p>第 6 回 Leçon 3</p> <p>第 7 回 Leçon 3</p> <p>第 8 回 Leçon 4</p> <p>第 9 回 Leçon 4</p> <p>第 10 回 Leçon 5</p> <p>第 11 回 Leçon 5</p> <p>第 12 回 Leçon 6</p> <p>第 13 回 Leçon 6</p> <p>第 14 回 まとめ 1</p> <p>第 15 回 まとめ 2</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	筆記試験 (70%) + 小テスト (30%)				
実務経験について					

生活科学専攻 2 年次(B)

授業科目	授業番号： 59			担当者	梁川 英俊
	フランス語Ⅱ (A)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】フランス語の基礎を学びます。</p> <p>【概要】フランス語はフランスのみならず、ベルギー、スイス、カナダ、中東、アフリカ諸国など広い地域で話される国際語です。フランス語を公用語とする国は 28 カ国に及び、国連などの主要な国際機関でも公用語として使用されています。スペイン語、イタリア語、ポルトガル語などとも共通点が多く、歴史的に英語にも多くの語彙を提供し、英語の語彙の 3 分の 3 はフランス語に由来すると言われています。フランス語はまた、お洒落や美食を語る上でも欠かせない言葉です。</p> <p>【到達目標】まずはフランス語をしっかりと発音できるようにし、そのうえで簡単な日常会話のフレーズも覚えましょう。授業中に集中すれば大丈夫です。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 『プチ・マエストロ』(朝日出版社)</p> <p>(2) 適宜指示する</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 Leçon 7</p> <p>第 2 回 Leçon 7</p> <p>第 3 回 Leçon 8</p> <p>第 4 回 Leçon 8</p> <p>第 5 回 Leçon 9</p> <p>第 6 回 Leçon 9</p> <p>第 7 回 Leçon 10</p> <p>第 8 回 Leçon 10</p> <p>第 9 回 Leçon 11</p> <p>第 10 回 Leçon 11</p> <p>第 11 回 Leçon 12</p> <p>第 12 回 Leçon 12</p> <p>第 13 回 まとめ 1</p> <p>第 14 回 まとめ 2</p> <p>第 15 回 まとめ 3</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	筆記試験 (70%) + 小テスト (30%)				
実務経験について					

英語英文専攻 1 年次(A)

授業科目	授業番号： 60			担当者	梁川 英俊
	フランス語Ⅱ (B)			授業外対応	授業終了後
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】フランス語の基礎を学びます。</p> <p>【概要】フランス語はフランスのみならず、ベルギー、スイス、カナダ、中東、アフリカ諸国など広い地域で話される国際語です。フランス語を公用語とする国は 28 カ国に及び、国連などの主要な国際機関でも公用語として使用されています。スペイン語、イタリア語、ポルトガル語などとも共通点が多く、歴史的に英語にも多くの語彙を提供し、英語の語彙の 3 分の 4 はフランス語に由来すると言われています。フランス語はまた、お洒落や美食を語る上でも欠かせない言葉です。</p> <p>【到達目標】まずはフランス語をしっかりと発音できるようにし、そのうえで簡単な日常会話のフレーズも覚えましょう。授業中に集中すれば大丈夫です。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 『プチ・マエストロ』(朝日出版社)</p> <p>(2) 適宜指示する</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 Leçon 7</p> <p>第 2 回 Leçon 7</p> <p>第 3 回 Leçon 8</p> <p>第 4 回 Leçon 8</p> <p>第 5 回 Leçon 9</p> <p>第 6 回 Leçon 9</p> <p>第 7 回 Leçon 10</p> <p>第 8 回 Leçon 10</p> <p>第 9 回 Leçon 11</p> <p>第 10 回 Leçon 11</p> <p>第 11 回 Leçon 12</p> <p>第 12 回 Leçon 12</p> <p>第 13 回 まとめ 1</p> <p>第 14 回 まとめ 2</p> <p>第 15 回 まとめ 3</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	筆記試験 (70%) + 小テスト (30%)				
実務経験について					

生活科学専攻 2 年次(B)

授業科目	授業番号： 61			担当者	楊 虹
	中国語 I (A)			授業外対応	適宜対応 (要予約)
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語に親しむ。</p> <p>【概要】この授業では、中国語の発音を身につけ、ロールプレイ、ゲームなど様々な教室活動を通して、中国語の基本構文を楽しく学ぶ。さらに中国の音楽や映画などの映像、留学生との交流活動を通して中国の社会や文化にも触れる。</p> <p>【到達目標】中国語の発音記号 (ピンイン) の読み方と綴り方がわかり、簡単な日常あいさつ、自己紹介ができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 陳淑梅・胡興智『楽々学習新・初級中国語 12 課』同学社</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 オリエンテーション：授業の概要説明，中国語で自分の名前を言う練習</p> <p>第 2 回 発音 (1)：単母音と声調の導入，練習</p> <p>第 3 回 発音 (2)：複母音の導入，練習</p> <p>第 4 回 発音 (3)：子音の導入，練習</p> <p>第 5 回 発音 (4)：子音の練習，発音のまとめ</p> <p>第 6 回 動詞是の使い方</p> <p>第 7 回 姓の言い方，尋ね方。フルネームの言い方，尋ね方</p> <p>第 8 回 これまでの復習</p> <p>第 9 回 動詞文の導入と練習</p> <p>第 10 回 動詞文の練習，疑問文の練習</p> <p>第 11 回 二つ以上の動詞からなる連動文</p> <p>第 12 回 希望や願望を表す助動詞「想」の導入，練習</p> <p>第 13 回 留学生との交流：中国人留学生と中国語で話してみる</p> <p>第 14 回 全体の復習</p> <p>第 15 回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜小テストを実施するので，毎回復習が必要である。				
成績評価の方法	小テスト (40%) と中国に関する発表またはレポート (10%)，口頭試験 (50%) で評価する				
実務経験について	なし				

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 62			担当者	中筋 健吉
	中国語 I (B)			授業外対応	メールで対応します。 k9553471@kadai.jp
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択(注)	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語 I ではまず基本的な中国語の発音を学び、その後テキストに従って文法、会話を勉強します。毎回小テストを行いますので、頑張ってください。なお、中国事情や文化の理解のために、適宜中国文化紹介DVDや、期間中1回は中国映画を鑑賞する予定です。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 李軼倫 著『中国語スタートアップ』(総合編) (金星堂)</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 イン트로ダクション 中国語について 教科書の使い方</p> <p>第 2回 発音篇 (1) 中国語ローマ字 (ピンイン) の習得</p> <p>第 3回 発音篇 (2) 中国語ローマ字 (ピンイン) の習得、発音まとめ</p> <p>第 4回 第1課 (前半) 自己紹介：1.人称代詞 2.“是 shì”構文</p> <p>第 5回 第1課 (後半) 自己紹介：3 動詞述語文 4 修飾語+“的 de”+名詞</p> <p>第 6回 第2課 (前半) 趣味を言う：1 指示代詞 1 2 疑問詞疑問文</p> <p>第 7回 第2課 (後半) 趣味を言う：3 推量の語気を表す“吧 ba” 4“一边 yìbiān ~ 一边 yìbiān...”</p> <p>第 8回 第3課 (前半) ラインを交換する：1 形容詞述語文 2 勧誘・命令を表す“吧 ba”</p> <p>第 9回 第3課 (後半) ラインを交換する：3 選択疑問文“A 还是 hái shì B?” 4 助動詞“可以 kěyǐ”</p> <p>第 10回 第4課 (前半) 料理を注文する：1 願望を表す助動詞“想 xiǎng” 2 可能を表す助動詞“能 néng”</p> <p>第 11回 第4課 (後半) 料理を注文する：3 量詞と物事の数え方 4 省略疑問文“~呢 ne?”</p> <p>第 12回 第5課 (前半) 勘定する：1 変化を表す“了 le” 2 結果補語</p> <p>第 13回 第5課 (後半) 勘定する：3 金額の言い方 4 二重目的語文</p> <p>第 14回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語</p> <p>第 15回 前期のまとめ *スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>				
授業外学習 (予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。				
成績評価の方法	筆記試験 (50%) +授業中に実施する小テスト (10%) +授業での発言内容 (40%) 但し状況により変更の可能性もあります。				
実務経験について					

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20~25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 63		担当者	孟 卓然	
	中国語 I (C)		授業外対応	講義前後に適宜対応	
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の基礎知識を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインと声調の読み方をマスターし、簡単な挨拶と自己紹介ができることを目的とします。授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ！中国語コミュニケーション CEFR A1 レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 ガイダンス</p> <p>第 2回 発音編1：単母音と声調について学ぶ</p> <p>第 3回 発音編2：複合母音について学ぶ</p> <p>第 4回 発音編3：鼻母音、子音について学ぶ</p> <p>第 5回 発音編4：発音編まとめ</p> <p>第 6回 第1課：「是」の文型と疑問詞「哪里」について学ぶ</p> <p>第 7回 第1課：自己紹介と簡単な挨拶について学ぶ</p> <p>第 8回 第2課：指示代名詞、疑問文について学ぶ</p> <p>第 9回 第2課：指示代名詞、疑問文について復習する</p> <p>第10回 第3課：数字の表現について学ぶ</p> <p>第11回 第3課：「有/没有」の文型について学ぶ</p> <p>第12回 第4課：時間と曜日の表現について学ぶ</p> <p>第13回 第4課：時刻の表現について学ぶ</p> <p>第14回 中国映画鑑賞+リスニング課題</p> <p>第15回 前期授業内容のまとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。				
成績評価の方法	授業への取り組み(50%)+定期試験(50%)				
実務経験について	なし				

(注) 英語英文学専攻、経済専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 64			担当者	陳 躍
	中国語 I (D)			授業外対応	授業終了後及びメールによる (アドレスは講義中に告知)
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】楽しい中国語会話</p> <p>【概要】中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。</p> <p>【到達目標】中国語検定準四級。漢語水平考試HSK筆記1級程度。前期はその前半部分の学習に当てる</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) テキスト①『楽しい中国』于国軍著 斯文堂</p> <p>(2) ① 関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳-日中往来』陳躍著 南日本新聞社</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 我是上海人</p> <p>第 2回 我叫王平</p> <p>第 3回 这里是南京路</p> <p>第 4回 现在几点了？</p> <p>第 5回 今天是星期几？</p> <p>第 6回 你家有几口人？</p> <p>第 7回 没关系 (映画)</p> <p>第 8回 香港的夏天热吗？ (映画)</p> <p>第 9回 四川菜很好吃 (中間テスト)</p> <p>第 10回 我经常散步</p> <p>第 11回 牌价是多少？</p> <p>第 12回 汉语难不难？</p> <p>第 13回 我没吃蒜</p> <p>第 14回 我想去超市</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。残り50%の評価は小テストとレポートにする				
実務経験について					

(注) 英語英文専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 65			担当者	三木 夏華
	中国語 I (E)			授業外対応	授業終了時に対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初めて中国語を学ぶ学生のための入門コース。</p> <p>【概要】中国語で最も難しいとされる発音と声調をしっかりとマスターし、基本的な文法事項を学ぶことを目的とする</p> <p>【到達目標】1 自己紹介など簡単な会話能力を身につける。2 ピンイン、声調記号が読めるようになる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 「しゃべっていいとも 中国語」朝日出版社 陳淑梅、劉光赤 著</p> <p>(2) 授業で紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 発音、声調</p> <p>第 2回 発音、声調</p> <p>第 3回 発音、声調</p> <p>第 4回 発音、声調</p> <p>第 5回 人称代名詞、名前の言い方</p> <p>第 6回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第 7回 “的”、“是”について</p> <p>第 8回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第 9回 動詞述語文、連動文</p> <p>第 10回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第 11回 指示代名詞、“有”構文</p> <p>第 12回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第 13回 “在”構文、方位詞</p> <p>第 14回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	前回学習した課を CD を聞いて必ず復習すること。重要フレーズは暗記すること。				
成績評価の方法	期末試験 50%+授業での発言内容、出席態度、復習・課題の状況 50%				
実務経験について	あり。鹿児島大学法文学部准教授。				

(注) 経営情報専攻

(注) 20～25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 66			担当者	中筋 健吉
	中国語 I (F)			授業外対応	メールで対応します。 k9553471@kadai.jp
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	前期	1単位	選択(注)	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語 I ではまず基本的な中国語の発音を学び、その後テキストに従って文法、会話を勉強します。毎回小テストを行いますので、頑張ってください。なお、中国事情や文化の理解のために、適宜中国文化紹介DVDや、期間中1回は中国映画を鑑賞する予定です。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 李軼倫 著『中国語スタートアップ』(総合編) (金星堂)</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 イントロダクション 中国語について 教科書の使い方</p> <p>第 2回 発音篇 (1) 中国語ローマ字 (ピンイン) の習得</p> <p>第 3回 発音篇 (2) 中国語ローマ字 (ピンイン) の習得、発音まとめ</p> <p>第 4回 第1課 (前半) 自己紹介：1.人称代詞 2.“是 shì”構文</p> <p>第 5回 第1課 (後半) 自己紹介：3 動詞述語文 4 修飾語+“的 de”+名詞</p> <p>第 6回 第2課 (前半) 趣味を言う：1 指示代詞 1 2 疑問詞疑問文</p> <p>第 7回 第2課 (後半) 趣味を言う：3 推量の語気を表す“吧 ba” 4“一边 yìbiān ~ 一边 yìbiān...”</p> <p>第 8回 第3課 (前半) ラインを交換する：1 形容詞述語文 2 勧誘・命令を表す“吧 ba”</p> <p>第 9回 第3課 (後半) ラインを交換する：3 選択疑問文“A 还是 hái shì B?” 4 助動詞“可以 kěyǐ”</p> <p>第 10回 第4課 (前半) 料理を注文する：1 願望を表す助動詞“想 xiǎng” 2 可能を表す助動詞“能 néng”</p> <p>第 11回 第4課 (後半) 料理を注文する：3 量詞と物事の数え方 4 省略疑問文“～呢 ne?”</p> <p>第 12回 第5課 (前半) 勘定する：1 変化を表す“了 le” 2 結果補語</p> <p>第 13回 第5課 (後半) 勘定する：3 金額の言い方 4 二重目的語文</p> <p>第 14回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語</p> <p>第 15回 前期のまとめ *スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>				
授業外学習 (予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。				
成績評価の方法	筆記試験 (50%) +授業中に実施する小テスト (10%) +授業での発言内容 (40%) 但し状況により変更の可能性もあります。				
実務経験について					

(注) 経済専攻, 経営情報専攻

(注) 20~25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 67			担当者	土肥 克己
	中国語 I (G)			授業外対応	メールで事前連絡すること
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】単語で作文 I</p> <p>【概要】1回に25個ほどの単語を覚えてきてもらい、それを使って作文をします。基本的に単純な文だけにして、書かずに口頭で答えてみましょう。短い文がぱっと口から出るようになれば、外国語もそれほど難しくはないものです。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度に1年間の語学目標レベルを設定します。前期はその前半部分の学習に当てます。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布します。</p> <p>(2) 関西大学中国語教材研究会編『中国語検定徹底対策準4級』アルク</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 授業の進め方について</p> <p>第2回 声調と母音</p> <p>第3回 子音</p> <p>第4回 発音のまとめ</p> <p>第5回 表記の規則</p> <p>第6回 クラス名簿, あいさつ (1)</p> <p>第7回 クラス名簿, あいさつ (2)</p> <p>第8回 数字, お金, 時刻 (1)</p> <p>第9回 数字, お金, 時刻 (2)</p> <p>第10回 数字, お金, 時刻 (3)</p> <p>第11回 簡単な動詞の文 (1)</p> <p>第12回 簡単な動詞の文 (2)</p> <p>第13回 意思表示, 誘いかけ (1)</p> <p>第14回 意思表示, 誘いかけ (2)</p> <p>第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。				
成績評価の方法	作文と小テスト 50%, 定期試験 50%				
実務経験について	なし				

(注) 食物栄養専攻, 生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 68			担当者	孟 卓然
	中国語 I (H)			授業外対応	講義前後に適宜対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の基礎知識を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインと声調の読み方をマスターし、簡単な挨拶と自己紹介ができることを目的とします。授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ！中国語コミュニケーション CEFR A1 レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 ガイダンス</p> <p>第 2回 発音編1：単母音と声調について学ぶ</p> <p>第 3回 発音編2：複合母音について学ぶ</p> <p>第 4回 発音編3：鼻母音、子音について学ぶ</p> <p>第 5回 発音編4：発音編まとめ</p> <p>第 6回 第1課：「是」の文型と疑問詞「哪里」について学ぶ</p> <p>第 7回 第1課：自己紹介と簡単な挨拶について学ぶ</p> <p>第 8回 第2課：指示代名詞、疑問文について学ぶ</p> <p>第 9回 第2課：指示代名詞、疑問文について復習する</p> <p>第10回 第3課：数字の表現について学ぶ</p> <p>第11回 第3課：「有/没有」の文型について学ぶ</p> <p>第12回 第4課：時間と曜日の表現について学ぶ</p> <p>第13回 第4課：時刻の表現について学ぶ</p> <p>第14回 中国映画鑑賞＋リスニング課題</p> <p>第15回 前期授業内容のまとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。				
成績評価の方法	授業への取り組み(50%)＋定期試験(50%)				
実務経験について	なし				

(注) 食物栄養専攻、生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 69			担当者	楊 虹
	中国語Ⅱ (A)			授業外対応	適宜対応 (要予約)
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語によるコミュニケーションに慣れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語Ⅰを履修した受講生を対象としている。前期の内容を復習しつつ、引き続き中国語の基本構文を導入し、中国語を聞いて、話す力を伸ばす。さらに、中国の音楽や映画などの映像、留学生との交流活動を通して中国の社会や文化にも触れる。</p> <p>【到達目標】学習を進める上での基礎的知識を有し、中国語による家族構成の紹介や、簡単な買い物ができる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 陳淑梅・胡興智『楽々学習新・初級中国語 13 課』同学社</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 オリエンテーション：授業の概要説明，前期の復習</p> <p>第 2 回 動詞「有」の導入，練習</p> <p>第 3 回 動詞「在」の導入，練習</p> <p>第 4 回 「有」と「在」の応用練習</p> <p>第 5 回 年月日，曜日の言い方の練習</p> <p>第 6 回 助動詞「得」と「要」言い方の導入，練習</p> <p>第 7 回 助動詞を使った文の応用練習</p> <p>第 8 回 復習（1）これまでの内容の復習</p> <p>第 9 回 形容詞述語文の導入，練習</p> <p>第 10 回 時刻の言い方の導入，練習</p> <p>第 11 回 形容詞述語文の応用練習</p> <p>第 12 回 お金の言い方の導入，練習</p> <p>第 13 回 量詞の導入，練習</p> <p>第 14 回 復習（2）：全体の復習</p> <p>第 15 回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜小テストを実施するので，毎回復習が必要である。				
成績評価の方法	小テスト（40%）と中国に関するレポート（10%），口頭試験（50%）で評価する				
実務経験について	なし				

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 70			担当者	中筋 健吉
	中国語Ⅱ (B)			授業外対応	メールで対応します。 k9553471@kadai.jp
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択(注)	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語Ⅰで培った初級の中国語力をさらにステップアップさせるべく、テキストに従って、さまざまな文法、会話のパターンを習得します。小テストも同様に毎回行います。今期も適宜中国文化紹介DVDや中国映画（1回）を鑑賞します。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 李軼倫 著『中国語スタートアップ』（総合編）（金星堂）</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 第6課（前半） カフェに誘う：1 指示代詞 2 2 必要性を表す助動詞“要 yào”“得 dēi”</p> <p>第 2回 第6課（後半） カフェに誘う：3 連動文 4 感嘆表現“太 tài～了 le”</p> <p>第 3回 第7課（前半） ペットの話をする：1 場所代詞・方位詞 2 所在を表す動詞“在 zài”</p> <p>第 4回 第7課（後半） ペットの話をする：3 存在を表す動詞“有 yǒu” 4 前置詞“在 zài”</p> <p>第 5回 第8課（前半） 家族の話をする：1 所有を表す“有 yǒu” 2 比較表現</p> <p>第 6回 第8課（後半） 家族の話をする：3 疑問詞“几 jǐ”と“多少 duōshǎo” 4 年齢の聞き方</p> <p>第 7回 第9課 待ち合わせる：1 進行を表す“在 zài” 2 年月日・曜日の言い方 3 時刻の言い方</p> <p>第 8回 第10課 旅行の話をする：1 経験を表す助詞“过 guo” 2“是 shì ～ 的 de” 構文 3 動詞の重ね型</p> <p>第 9回 第11課（前半） カラオケに行く：1 様態補語 2 “有点儿 yǒudiǎnr”と“一点儿 yìdiǎnr”</p> <p>第10回 第11課（後半） 動作の発生や進行について話す：3 完了を表す“了 le” 4 反復疑問文</p> <p>第11回 第12課（前半） 再会を待ち望む：1“快 kuài～了 le”/“就要 jiù yào～了 le” 2 可能性を表す“会 huì ～ (的 de)” 3 状態の持続を表す“着 zhe” 4 方向補語“来 lái/去 qù”</p> <p>第12回 第12課（後半） 再会を待ち望む：3 状態の持続を表す“着 zhe” 4 方向補語“来 lái/去 qù”</p> <p>第13回 中国映画鑑賞＋中国映画の中国語</p> <p>第14回 中国映画鑑賞＋中国映画の中国語</p> <p>第15回 授業まとめ＊スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>				
授業外学習 (予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。				
成績評価の方法	筆記試験（50％）＋授業中に実施する小テスト（10％）＋授業での発言内容（40％）但し状況により変更の可能性もあります。				
実務経験について					

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 71			担当者	孟 卓然
	中国語Ⅱ (C)			授業外対応	講義前後に適宜対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の簡単な日常会話を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインを正確に読み、趣味、経験などの日常会話ができることを目的とします。</p> <p>授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ！中国語コミュニケーション CEFR A1 レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 ガイダンス、前期の復習</p> <p>第2回 第5課：形容詞について学ぶ</p> <p>第3回 第5課：程度副詞について学ぶ</p> <p>第4回 第6課：趣味や好みについての表現を学ぶ</p> <p>第5回 第6課：「会」、「能」の文型について学ぶ</p> <p>第6回 第7課：家族、人間関係、職業についての表現を学ぶ</p> <p>第7回 第7課：量詞について学ぶ</p> <p>第8回 第8課：場所、方向についての表現を学ぶ</p> <p>第9回 第8課：「在」の文型について学ぶ</p> <p>第10回 第9課：交通手段についての表現を学ぶ</p> <p>第11回 第9課：交通手段についての表現を復習する</p> <p>第12回 第10課：動作の発生と進行についての表現を学ぶ</p> <p>第13回 第10課：動作の発生と進行についての表現を復習する</p> <p>第14回 中国映画鑑賞＋リスニング課題</p> <p>第15回 後期授業内容のまとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。				
成績評価の方法	授業への取り組み(50%)＋定期試験(50%)				
実務経験について	なし				

(注) 英語英文学専攻、経済専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 72			担当者	陳 躍
	中国語Ⅱ (D)			授業外対応	授業終了後及びメールによる (アドレスは講義中に告知)
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1,2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 楽しい中国語会話</p> <p>【概要】 中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最適な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。</p> <p>【到達目標】 中国語検定準四級。漢語水平考試HSK筆記1級程度。前期はその前半部分の学習に当てる</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) テキスト①『楽しい中国』于国軍著 斯文堂</p> <p>(2) ① 関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳-日中往来』陳躍著 南日本新聞社</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 来我家玩吧</p> <p>第 2回 我打算去旅行</p> <p>第 3回 没看过, 听过</p> <p>第 4回 我能参加</p> <p>第 5回 我记一下</p> <p>第 6回 我们边走边谈</p> <p>第 7回 好像借给小李了 (中間テスト)</p> <p>第 8回 我不会打日文 (映画)</p> <p>第 9回 你知道号码吗? (映画)</p> <p>第 10回 什么都可以</p> <p>第 11回 被谁偷走了呢?</p> <p>第 12回 让你久等了</p> <p>第 13回 有没有单间?</p> <p>第 14回 我说得不好</p> <p>第 15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。				
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。残り50%の評価は小テストとレポートにする				
実務経験について					

(注) 英語英文専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

(注) 20~26人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 73			担当者	三木 夏華
	中国語Ⅱ (E)			授業外対応	授業終了時に対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	指定なし	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】前期の中国語Ⅰに続く入門コース。</p> <p>【概要】前期に引き続き、中国語の発音要領と中国語文法の基礎をマスターする。道の尋ね方、買い物仕方など、日常生活で不可欠な表現を身につける。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試HSK筆記1級のレベルにまで到達することを目標とする。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 「しゃべっていいとも 中国語」朝日出版社 陳淑梅、劉光赤 著</p> <p>(2) 授業で紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 数の言い方、中国のお金の言い方、値段の尋ね方</p> <p>第2回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第3回 値段の尋ね方、年月日、曜日の言い方</p> <p>第4回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第5回 年齢の言い方、量詞、動詞の重ね型</p> <p>第6回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第7回 時刻の言い方、語気助詞の“了”</p> <p>第8回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第9回 時間の長さの言い方、完了の“了”</p> <p>第10回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第11回 前置詞、助動詞1</p> <p>第12回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第13回 動詞の進行を表す表現、助動詞2</p> <p>第14回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	前回学習した課をCDを聞いて必ず復習すること。重要フレーズは暗記すること。				
成績評価の方法	期末試験50%+授業での発言内容、出席態度、復習・課題の状況51%				
実務経験について	あり。鹿児島大学法文学部准教授。				

(注) 経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 74			担当者	中筋 健吉
	中国語Ⅱ (F)			授業外対応	メールで対応します。 k9553472@kadai.jp
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	1年	後期	1単位	選択(注)	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語Ⅰで培った初級の中国語力をさらにステップアップさせるべく、テキストに従って、さまざまな文法、会話のパターンを習得します。小テストも同様に毎回行います。今期も適宜中国文化紹介DVDや中国映画（1回）を鑑賞します。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 李軼倫 著『中国語スタートアップ』（総合編）（金星堂）</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 第6課（前半） カフェに誘う：1 指示代詞 2 2 必要性を表す助動詞“要 yào”“得 dēi”</p> <p>第 2回 第6課（後半） カフェに誘う：3 連動文 4 感嘆表現“太 tài～了 le”</p> <p>第 3回 第7課（前半） ペットの話をする：1 場所代詞・方位詞 2 所在を表す動詞“在 zài”</p> <p>第 4回 第7課（後半） ペットの話をする：3 存在を表す動詞“有 yǒu” 4 前置詞“在 zài”</p> <p>第 5回 第8課（前半） 家族の話をする：1 所有を表す“有 yǒu” 2 比較表現</p> <p>第 6回 第8課（後半） 家族の話をする：3 疑問詞“几 jǐ”と“多少 duōshǎo” 4 年齢の聞き方</p> <p>第 7回 第9課 待ち合わせる：1 進行を表す“在 zài” 2 年月日・曜日の言い方 3 時刻の言い方</p> <p>第 8回 第10課 旅行の話をする：1 経験を表す助詞“过 guo” 2“是 shì ～ 的 de” 構文 3 動詞の重ね型</p> <p>第 9回 第11課（前半） カラオケに行く：1 様態補語 2 “有点儿 yǒudiǎnr”と “一点儿 yìdiǎnr”</p> <p>第10回 第11課（後半） 動作の発生や進行について話す：3 完了を表す“了 le” 4 反復疑問文</p> <p>第11回 第12課（前半） 再会を待ち望む：1“快 kuài～了 le”/“就要 jiù yào～了 le” 2 可能性を表す“会 huì ～ (的 de)”</p> <p>第12回 第12課（後半） 再会を待ち望む：3 状態の持続を表す“着 zhe” 4 方向補語“来 lái/去 qù”</p> <p>第13回 中国映画鑑賞＋中国映画の中国語</p> <p>第14回 中国映画鑑賞＋中国映画の中国語</p> <p>第15回 授業まとめ＊スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>				
授業外学習 (予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。				
成績評価の方法	筆記試験（50%）＋授業中に実施する小テスト（10%）＋授業での発言内容（41%）但し状況により変更の可能性もあります。				
実務経験について					

(注) 経済専攻、経営情報専攻

(注) 20～25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 75			担当者	土肥 克己
	中国語Ⅱ (G)			授業外対応	メールで事前連絡すること
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 単語で作文Ⅱ</p> <p>【概要】 1回に25個ほどの単語を覚えてきてもらい、それを使って作文をします。やや複雑な文にして、基本的に書かずに口頭で答えてみましょう。長い作文は文法的に間違いやすいですがそれは気にせず、相手に気持ちを伝えることを大切にします。</p> <p>【到達目標】 中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度に1年間の語学目標レベルを設定します。後期はその後半部分の学習に当てます。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布します。</p> <p>(2) 関西大学中国語教材研究会編『中国語検定徹底対策準4級』アルク</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 連続動作, 意向確認 (1)</p> <p>第2回 連続動作, 意向確認 (2)</p> <p>第3回 なに? どこ? だれ? (1)</p> <p>第4回 なに? どこ? だれ? (2)</p> <p>第5回 モノ (1)</p> <p>第6回 モノ (2)</p> <p>第7回 場所 (1)</p> <p>第8回 場所 (2)</p> <p>第9回 状態 (1)</p> <p>第10回 状態 (2)</p> <p>第11回 態度, ある瞬間 (1)</p> <p>第12回 態度, ある瞬間 (2)</p> <p>第13回 1年間の復習 (1)</p> <p>第14回 1年間の復習 (2)</p> <p>第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。				
成績評価の方法	作文と小テスト 50%, 定期試験 50%				
実務経験について	なし				

(注) 食物栄養専攻, 生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 76			担当者	孟 卓然
	中国語Ⅱ (H)			授業外対応	講義前後に適宜対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の簡単な日常会話を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインを正確に読み、趣味、経験などの日常会話ができることを目的とします。</p> <p>授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ！中国語コミュニケーション CEFR A1 レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 ガイダンス、前期の復習</p> <p>第 2回 第5課：形容詞について学ぶ</p> <p>第 3回 第5課：程度副詞について学ぶ</p> <p>第 4回 第6課：趣味や好みについての表現を学ぶ</p> <p>第 5回 第6課：「会」、「能」の文型について学ぶ</p> <p>第 6回 第7課：家族、人間関係、職業についての表現を学ぶ</p> <p>第 7回 第7課：量詞について学ぶ</p> <p>第 8回 第8課：場所、方向についての表現を学ぶ</p> <p>第 9回 第8課：「在」の文型について学ぶ</p> <p>第10回 第9課：交通手段についての表現を学ぶ</p> <p>第11回 第9課：交通手段についての表現を復習する</p> <p>第12回 第10課：動作の発生と進行についての表現を学ぶ</p> <p>第13回 第10課：動作の発生と進行についての表現を復習する</p> <p>第14回 中国映画鑑賞＋リスニング課題</p> <p>第15回 後期授業内容のまとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。				
成績評価の方法	授業への取り組み(50%)＋定期試験(50%)				
実務経験について	なし				

(注) 食物栄養専攻、生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	授業番号： 77			担当者	楊 虹
	中国語Ⅲ			授業外対応	適宜対応（要予約）
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	前期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の体系を把握する。</p> <p>【概要】この授業は、中国語Ⅰ・Ⅱを履修した受講生を対象とする。中国語検定試験4級程度の語彙、文法の獲得を目指し、中国語の読む・聞く・話す力をさらに伸ばす。また、後半では自律的に中国語を学ぶ力を身につけることを目的に、グループで中国語の寸劇を作って発表する活動を取り入れる。</p> <p>【到達目標】中国語検定試験4級を取得することを目指すと同時に今後自律的に中国語を学習していく方法を身につける。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布する。</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション：授業の概要説明および1年次に習った内容の復習</p> <p>第 2回 年齢の言い方と尋ね方</p> <p>第 3回 前置詞「在」（～で～をする）の導入，練習</p> <p>第 4回 完了の「了」の導入，練習</p> <p>第 5回 時間量の言い方の導入，練習</p> <p>第 6回 文末詞「了」の導入，練習</p> <p>第 7回 場所の言い方の導入，練習</p> <p>第 8回 必要の「得」：「ねばならない」を表す助動詞「得」の導入，練習</p> <p>第 9回 これまでの復習：これまで習った内容の復習を行う。</p> <p>第10回 中国語で寸劇①：シナリオの作成</p> <p>第11回 中国語で寸劇②：シナリオの修正</p> <p>第12回 中国語で寸劇③：シナリオの決定，台本を読む練習</p> <p>第13回 中国語で寸劇④：台本を読む練習，通し稽古</p> <p>第14回 中国語で寸劇⑤：発表</p> <p>第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜小テストを実施するので，毎回復習が必要である。				
成績評価の方法	小テスト（50%），口頭試験（50%）で評価する				
実務経験について	なし				

(注) 生活科学科を除く

授業科目	授業番号： 78			担当者	土肥 克己
	中国語Ⅳ			授業外対応	メールで事前連絡すること
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	後期	1単位	選択	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語で本を読む</p> <p>【概要】中国のラジオドラマの台本を読みます。台本ですので自然な会話を学べます。発音を特に重視しますので、十分に予習・復習してから受講してください。</p> <p>【到達目標】中国語検定4級レベル、漢語水平考試 HSK 筆記2級程度に半年間の語学目標レベルを設定します。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布します。</p> <p>(2)</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 授業の進め方について</p> <p>第2回 発音の復習 (1)</p> <p>第3回 発音の復習 (2)</p> <p>第4回 発音の復習 (3)</p> <p>第5回 発音の復習 (4)</p> <p>第6回 講読 (1)</p> <p>第7回 講読 (2)</p> <p>第8回 講読 (3)</p> <p>第9回 講読 (4)</p> <p>第10回 講読 (5)</p> <p>第11回 講読 (6)</p> <p>第12回 講読 (7)</p> <p>第13回 講読 (8)</p> <p>第14回 講読 (9)</p> <p>第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	中国語の原文と発音をプリントにして事前に配布するので予習・復習をしてきてください。				
成績評価の方法	予習と発表 100%。定期試験は実施しません。				
実務経験について	なし				

(注) 生活科学科を除く